

さいがい          そな  
「災害への備えについて」

とっとりけんききかんりきょく  
鳥取県危機管理局



# 学習の内容

- ◆災害ってどういうもの？
- ◆危機管理局って  
どんな仕事をしているの？
- ◆わたしたちには何ができるの？



# 「災害(さいがい)」って何？

- 地震
- 津波
- 大雨
- 強風
- 原子力発電所の事故



# 「災害(さいがい)」が起きるとどうなる？

- 家や道路が壊れる。
- 水が使えなくなる
- 電気が使えなくなる。
- 人がケガをする。
- 放射能により人が住めなくなる。



# 鳥取県でも大きな地震が起こりました



家が倒れた(鳥取市)



家が倒れた(鳥取市)



家が火事になった(鳥取市)



若桜街道(鳥取市)

鳥取地震(1943年)

# 鳥取県でも大きな地震が起こりました

家がつぶれた(境港市)



ガケが崩れた(溝口町)



家が壊れた(日野町)



道路に石が落ちてきた(日野町)



鳥取県西部地震(2000年)

# 近くの県でも大きな地震が起こりました



阪神・淡路大震災(1995年)

# 東日本大震災では津波と津波による 原子力発電所の事故が起きました。

## 大津波



## 福島第1原子力発電所の事故



# 「災害」はどこでも起きるよ

## ①地震

どんな「被害(ひがい)」が出るだろう？

建物がつぶれた。



道路がくずれた。



# 「災害」はどこでも起きるよ

## ②津波

どんな「被害（ひがい）」が出るだろう？



建物や車が流された。

# 「災害」はどこでも起きるよ

## ③大雨

どんな「被害(ひがい)」が出るだろう？



水があふれた。



崖がくずれた。

# 「災害」はどこでも起きるよ

## ④強風

どんな「被害(ひがい)」が出るだろう？



柱が折れた。



# 「災害」はどこでも起きるよ

## ④強風(竜巻)

どんな「被害(ひがい)」が出るだろう？

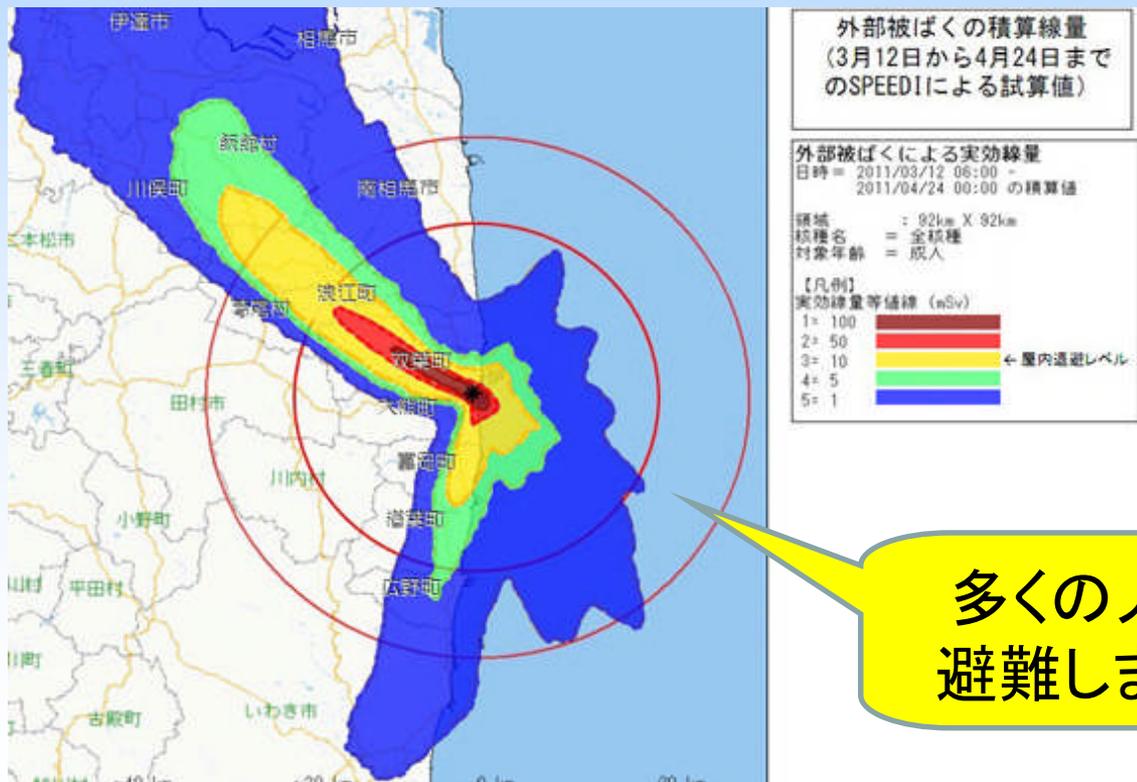
家や車がふきとばされた！



# 「災害」はどこでも起きるよ

## ⑤原子力発電所の事故

どんな「被害(ひがい)」が出るだろう？



**県は災害が起きたら  
何をするのか？**

# 県は災害が起きたら何をするの？

① どんな被害が出たかを調べます。

→各市町村からの聴き取りや  
ヘリコプターを使って調べる。

② 何をしないといけないかを考えます。

→災害対策本部を作って対策を決める。

③ 応援に来てもらいます。

→自衛隊や、ほかの県などに応援を  
お願いします。

# 県は災害が起きたら何をするの？

④ ケガを早く手当できるようにします。

→災害現場にお医者さんを派遣したり、ほかの県への受入れをお願いします。

⑤ 避難した人に食べ物を届けます。

→市町村と相談し、企業にもお願いします。

⑥ 災害の情報をみなさんに伝えます。

→ホームページやテレビなどを使います。

# 県は普段は何をしているの？

- ① **災害の時にどうするかを決めています。**  
→あらかじめ計画を作ったり、市町村と協力のための取り決めを結んでいます。
- ② **災害の時の連絡方法を準備しています。**  
→防災行政無線（地域にもあるよ）や衛星携帯電話を使います。
- ③ **災害が起きた時に色々なことを決める場所を準備しています。**  
→ **災害対策本部室**

# 県は普段は何をしているの？

- ④ 危険を知らせる情報を伝えています。  
→ 注意報や警報、地震情報など。
- ⑤ 災害が起こった時の練習をしています。  
→ 実際に人や車を使った訓練や地図を使ってする訓練
- ⑥ 24時間、災害に備えています。  
→ 職員が、いつも2名以上待機。

# 県は普段は何をしているの？

⑦ みなさんに、「防災(ぼうさい)」の大切さを呼びかけています。

→起震車などの体験や消防車などの見学ができる防災フェスタ、防災教育など。

【防災フェスタのーコマ】



今年は境港市で**フェスタ**が行われるよ。みんな来てね。



しょうぼうぼうさい

# 消防防災ヘリコプターって何？

- 空から被害の状況を確認します。
- 孤立した地上の人を引き上げます。
- けがした人を病院に送ります。



# 消防防災ヘリコプターは何をするの？

- 空から水をまいて火を消します。
- 普段から訓練しています。



# どんなことが大変？

- 災害は、いつ、どこで、どのくらいのものが起きるか、分かっていない。同じ災害は起こらない。
  - 災害が起きたら、必要な情報が手に入らない。何が起きているのか分からないことがある。
  - どんどん状況が変わるので、それに合わせて、やることも変えていかなければいけない。
- ⇒ 県知事が災害対策本部長となって、国や他の県などからの応援に来てくれる人達とともに、災害対策本部室で対応を決める。

# 災害の時は誰に助けられた？

A 救助隊

B 自力・家族

C 友人など



# 災害の時は誰に助けられた？

助けた人	割合	区分
自力・家族	約67%	自助(じじょ)
友人・隣人など	約31%	共助(きょうじょ)
救助隊	約2%	公助(こうじょ)

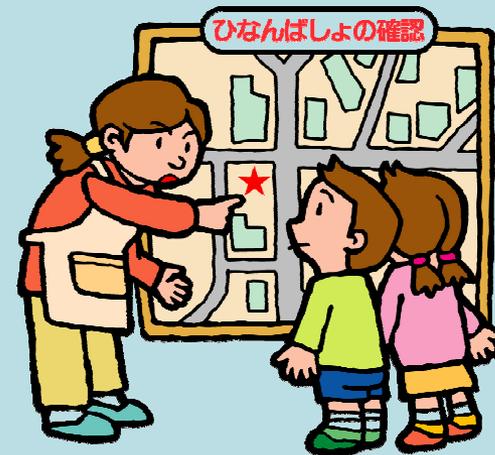
⇒ 自分の身は自分で守る、災害の時は隣・近所の助け合いが大切！

⇒ 大災害になると消防車はすぐに助けに行けません！

(社)日本火災学会:「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」のデータを加工

# 「被害（ひがい）」を少なく するためにはどうしたらいい？

- ◆ **一人一人**が、出来ることに取り組む
- ◆ 近所の人で協力して、地域で出来ることに取り組む
- ◆ **県**や市町村、消防が、被害を減らすためのお仕事を



災害が起きても、みなさんが安全で  
いられるように、県も準備しています。

みなさんも、自分や家族が安全でい  
られるように、準備しておきましょう。

じ じょ  
自助

自分の命は自分で守ろう

地域で助け合おう

きょう じょ  
共助

県や消防などが助ける

こう じょ  
公助